

事業所コード01 123456789012345678901
テスト株式会社01 12345678901234567890
123456789012345678901234567890
テスト氏名01 12345678901234567890 様
123456789012345678901234567890
9999-9901 12345678901234567890

当健康保険組合では、健診後のフォローアップとして、健診結果により腎機能のリスクのある方に情報提供を行っております。
現在も医療機関未受診の場合は、早めに腎臓内科または内科の医師の診察をお受け下さい。
(すでに産業医やかかりつけ医師から指示を受けている場合、その指示に従って下さい。)

1 000001#



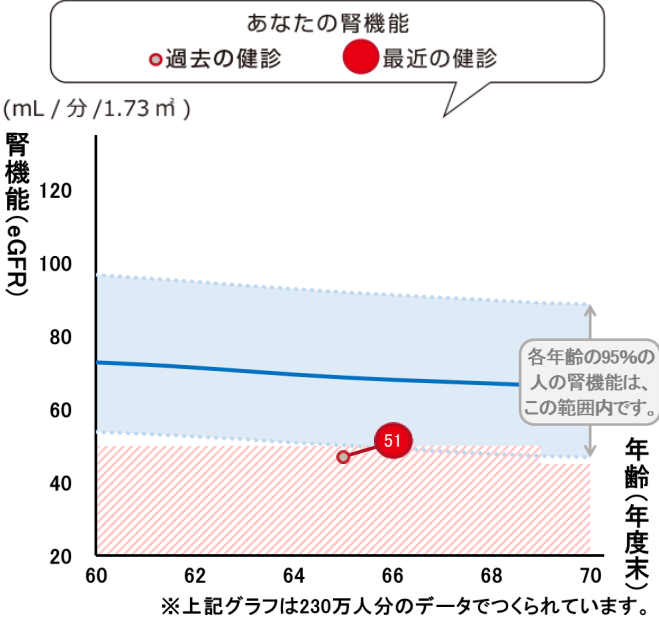
JMDC123456789123
JMDC健康保険組合 1 2 3 4 5 6
999-999912345678
東京都港区芝大門1-11-1234567891234
9999-99-9999912345678912345
東京都港区芝大門1-11-1234567891234



あなたの腎機能の状態を
グラフで確認してください

このグラフは、年齢に合わせた腎機能の分布を示しています。真ん中の実線は年齢平均で、上と下の点線の範囲内に95%の人が分布していることを示しています。

赤い範囲に入ると、腎機能が著しく低下し
慢性腎臓病の可能性が高い状態です。



あなたの腎臓の注意ポイント

腎臓の働き
(推算糸球体濾過量)

51.0 ☹️
mL/分/1.73m²

腎の働き(機能)が軽度～中等度低下している状態です。医師を受診してください。

※eGFRの数値は、小数点第2位を切り捨てています。

腎機能が
悪くなる速さ

一般的には毎年0.6mL/分/1.73m²
濾過機能が低下します

3.5 😊
mL/分/1.73m² 変化しました

腎の働き(機能)は年齢相応の低下スピードです。

腎臓が
傷ついた状態
(蛋白尿)

(-) 😊

腎臓からたんぱくは漏れていません。正常です。

腎臓機能の悪化に影響する検査結果

腎臓の状態					血圧の状態		血糖の状態		脂質の状態			尿酸の状態
あなたの健診結果	尿蛋白	血清クレアチニン (mg/dL)	eGFR (mL/分/1.73m ²)	(前回健診比) ※ eGFRの変化	収縮期 (mmHg)	拡張期 (mmHg)	空腹時血糖 (mg/dL)	HbA1c(%)	中性脂肪 (mg/dL)	LDL(mg/dL)	HDL(mg/dL)	尿酸値 (mg/dL)
2023/09/27	-	1.13	51.0	3.5	124	73	91		610	134	66	8.6
2022/10/05	-	1.21	47.5		127	72	89		354	150	66	13.7
2021/11/08	-				138	79	79		334	119	67	

※eGFRの変化＝年間 5mL/分/1.73 m²以上の低下、または 25% 以上低下している時には急速な腎臓機能の悪化の可能性があります。

内科医師にこの検査結果を見せましょう！



早めに医師の ※ 診察を受けましょう。

※腎臓内科または内科

健診受診月
2023年09月

作成月
2023年12月

監修／木村健二郎
(JCHO東京高輪病院院長
腎臓専門医／高血圧専門医)

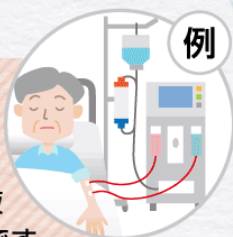
健診結果から、あなたは人工透析を
必要とする**末期腎不全**や入院や
高度医療を必要とする**脳卒中**や
心筋梗塞を発症するリスク
のある慢性腎臓病(CKD)
である可能性があります。
早期に受診し、今の状態
を維持し、これ以上悪く
ならないよう治
療や生活習慣の改善に
努めましょう。

あなたの
腎臓のろ過能力は
49%
低下しています

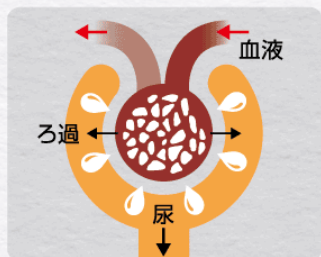


人工透析

週に複数回通院し、
数時間かけて血液
を浄化する治療法です。



例



糸球体 しきゅうたい

余分な水分や老廃物は糸球体
で濾過されて、体外に尿として
排泄されます。糸球体は片方の
腎臓※に約100万個存在しま
すが、この濾過能力(濾過量)を
GFRと言います。



※イメージ図



あなたの腎機能が失われている割合を示しています。

- 慢性腎臓病(CKD)とは、慢性(3カ月以上)に経過するすべての腎臓の病気のことを指します。腎臓はあなたの身体を正常な状態に保つ重要な役割を担っているため、CKDによって腎臓の機能が低下し続けることで、さまざまな病気の危険が発生します。
- 腎臓は一度あるレベルまで悪くなってしまうと、その後進行性に悪化することが多いです。
- CKDは、自覚症状がないことが特徴です。●生活習慣病との関連も深く、誰もがかかる可能性のある病気です。

※左右の腎臓に合わせて200万個の糸球体があります。